

2026 年 6 月 5 日作成 Ver.3

《情報公開文書》

**再発髄膜腫における悪性転化
—臨床的特徴と分子病理学的解析による検討—****研究の概要****【背景】**

髄膜腫は中枢神経系に発生する原発性脳腫瘍の中で最も頻度の高い腫瘍であり、多くは良性として経過します。しかし、一部の症例では手術後に再発をきたし、その過程で増殖能の亢進や組織学的悪性化を認めることがあり、臨床的大きな問題となっています。再発髄膜腫の悪性化には、病理学的変化や遺伝子異常の関与が示唆されていますが、その詳細な機序や危険因子は十分に明らかにされていません。

本研究では、当院で手術を行った再発髄膜腫症例を対象として、初回標本と再発標本を用いた免疫染色および遺伝子解析を行い、悪性化に関連する病理学的および分子病理学的特徴を明らかにすることを目的とします。得られた知見は、再発リスク評価や予後予測、治療方針の検討に資する基礎情報となることが期待されます。

【目的】

本研究の目的は、再発髄膜腫における悪性化の臨床的・病理学的特徴を明らかにし、悪性化に関与する因子を特定することです。さらに、初回手術標本と再発標本を用いた免疫染色および遺伝子解析を通して、悪性化の分子メカニズムを解明し、再発リスク評価や治療方針決定に役立つ知見を得ることを目指します。

【意義】

本研究により、再発髄膜腫の悪性化に関する基礎的エビデンスが蓄積され、再発リスク評価や治療選択における指標の明確化に貢献することが期待されます。また、病理学的および遺伝学的解析を通じて、悪性化に関連する新たなバイオマーカーの同定が可能となり、将来的には個別化医療や治療戦略の最適化につながると考えられます。

【方法】

本研究は後方視的観察研究であり、当院で手術を受けた再発髄膜腫症例を対象として、診療録および初回手術時・再発手術時の病理標本を用いた解析を行います。病理学的所見、免疫染色結果および遺伝子解析結果を比較し、臨床経過との関連を解析します。

対象となる患者さん

以下の基準を満たす全年齢の患者さんを対象とします。 【選択基準】 ① 2009 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に当院で頭蓋内髄膜腫の手術を受け、再発に対して再手術が行われた方 ② 病理診断により髄膜腫と確定された方
研究に用いる試料・情報
●研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。 ・患者さんの背景 ・臨床検査結果 ・画像検査結果 ・病理検査結果 ・遺伝子検査結果 ●研究に用いる試料 手術時に採取された病理検体を用いて、免疫染色および遺伝子解析を行います。遺伝子解析では、TERT プロモーター変異、CDKN2A/B 欠失、1p loss/1q gain、22q loss など、髄膜腫の再発や悪性化に関連すると考えられる遺伝学的変化を評価します。これにより、再発時の悪性化に関与している可能性のある病理学的・遺伝学的要因を解析します。 なお、本研究で実施する免疫染色および遺伝子解析の結果については、原則として研究対象者へ個別に提供しません。本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の『お問い合わせ先』までご連絡ください。
外部への試料・情報の提供について
本研究は長崎大学病院における単施設研究として実施されます。
試料・情報の利用開始予定日
本研究は 2026 年 6 月 11 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。 あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。
研究実施期間
研究機関長の許可日～2031 年 3 月 31 日。
研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 脳神経外科 氏名：日宇 健 住所：長崎県 長崎市 坂本 1－7－1 電話：095（819）7375
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、試料・情報等の利用停止】 長崎大学病院 脳神経外科 日宇 健 〒852－8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7375 FAX 095（819）7378	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	